

令和3年度

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
「サービス評価」公表資料



自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価コメント
			ほとんど できていない	ほとんど できている	が 多 い こ と	全 く で き て い な い		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			「地域でその人らしさ、その人の暮らし、自分らしくあり続けるための介護の実践」という理念を掲げています。	概ね適正に実施できていると思います これからも創意工夫が必要
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			サービスについて2ヶ月に1回程度、スタッフが順番にオンライン研修に参加し周知している。 事業所理念について玄関に理念を掲示し常に意識できるようにしている。 年に1回は勉強会で理念研修を行い理念について周知している。	概ね適正に実施できていると思います これからも創意工夫が必要
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			サービスについて2ヶ月に1回程度、スタッフが順番にオンライン研修に参加するなどの機会を設けている。	概ね適正に実施できていると思います これからも創意工夫が必要
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			管理者が、各スタッフの能力を把握し各スタッフの能力が発揮できるよう定期的にスタッフと話し合いを行っている。	概ね適正に実施できていると思います 職員の欠員時にも対応できるように日頃から増員を図る。また、国、自治体にも補助金などを要請していくと良いと思います。 これからも創意工夫が必要
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			ICTを活用し（スマホ）介護職員の訪問の記録がすぐに看護師が確認できるようにしている。 必要に応じて情報共有用のノートを作成している。	概ね適正に実施できていると思います これからも創意工夫が必要 ICT活用による情報提供が進んでいるのは素晴らしいと思います
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		○			訪問日程表を作成し、シフトから人員の過不足や、日々のルートの調整を行っている。	これからも創意工夫が必要
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		現状の報告が会議の中心となっている。	これからも創意工夫が必要 コロナ禍での会議を開催する事事態難しい事であり、会議の中で得られた意見などを適切に反映する事は難しいですね。いろいろな規制のある中、現状維持もそうですが、更なる向上のため努めていきたいと思っています。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			家族や利用しているサービス関係者に有事の際にICT(スマホ)を活用したり、電話などで情報共有を行っている。	これからも創意工夫が必要
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			定期的に危険な場所の話し合い、その場所を通らないようにするなど対策を講じている。	これからも創意工夫が必要
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			個人情報は鍵付きのロッカーに入れてあり、必要なさい閲覧できるようにしている。	これからも創意工夫が必要

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価コメント
			計画通り	ほぼできています	できていないこと	全くできていない		
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			ケアマネージャーからの計画書をもとに、利用者の今までの生活を崩さないように話し合いを行っている。訪問していき要望がある際は本人、ケアマネージャー、家族等と相談のうえ、変更なども行っている。	初めてサービスを受ける利用者、家族には、より丁寧な説明が望まれる。例えば、専門用語で「ケアマネージャー」等初めての人には分かりにくいのではないか？整理・分析・検証から自分なりの答えを見つけ情報共有していただければ良いでしょう。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			連携している看護職の方と定期的に話し合いの場を設け情報共有を行っている。	整理・分析・検証から自分なりの答えを見つけ情報共有していただければ良いでしょう。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			○		心身機能の維持に着目した計画が多く、回復に軸足を置いた計画には達していないものもある。	加齢に伴い、ADLの回復など難しい面もありますが、現状維持でも良いと思います。出来ていない事が多いという事ですが、原因の分析がなされており良いことだと思います。今後できるように進めてください。整理・分析・検証から自分なりの答えを見つけ情報共有していただければ良いでしょう。利用者は一年一年年齢を重ねるわけですが、維持する事の計画が多くなることは必然と思われる。回復は難しい項目ですね。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている			○		先を見越したリスクの管理は行っているが、計画の作成にまで結びついていない。	加齢に伴い、ADLの回復など難しい面もありますが、現状維持でも良いと思います。出来ていない事が多いという事ですが、原因の分析がなされており良いことだと思います。今後できるように進めてください。整理・分析・検証から自分なりの答えを見つけ情報共有していただければ良いでしょう。重度化するとある程度は医療依存度が高まるのは自然な事なので、計画作成できたとしても実践が困難（または時間を要する）な例もあるのではと思います。「未来志向型」の計画の作成まで、結びついていないとの事、ですが、未来から逆算して、何をしなければならぬかを考えると利用者の抱く「未来」とはどのような事があるのでしょうか？とても難しい項目ですね
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			訪問時に体調のすぐれない利用者があった場合など定期訪問以外でも随時に訪問を行うなどしている。	随時の訪問の実施は利用者にとって大変ありがたいもので良いと思います。認知症の利用者が自宅にいない時など十分に対応していたら良いでしょう。随時対応サービスは利用者の方が安心されるのでとても良いと思います。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			日々の訪問時にスタッフがICT（スマケア）を活用し記録することで、モニタリング時にそれを反映し、状況変化の早期把握に努めている。	整理・分析・検証から自分なりの答えを見つけ情報共有していただければ良いでしょう。

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価コメント
			ほとんどない	ほぼできていない	できていない	全くできていない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			相互に役割分担を行い、連携を取りながら業務の効率化、専門性の強化を意識したサービス提供に努めている。	介護職と看護職の連携によるサービスが可能な事は利用者にとって、ありがたいと思います。整理・分析・検証から自分なりの答えを見つけ情報共有していけたら良いでしょう。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			日頃よりチームで支援しているため、相互に良好な関係に勤め、適切な指導、助言が行われている。	整理・分析・検証から自分なりの答えを見つけ情報共有していけたら良いでしょう。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			ご本人やご家族の理解を得られるよう、柔軟な説明・情報提供を行っている。	健康そうな方でも身体的に問題を抱えている場合があるので早期発見の利点を利用していけばよいと思います。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			日々の訪問時に要望があった場合は、計画作成責任者に報告し、月に1回のモニタリング時に意向の確認を行っている。また計画書は説明の上、本人や家族に同意をいただいている。	健康そうな方でも身体的に問題を抱えている場合があるので早期発見の利点を利用していけばよいと思います。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			状況の変化時や、訪問時に細やかに、適切な報告を行っている。	健康そうな方でも身体的に問題を抱えている場合があるので早期発見の利点を利用していけばよいと思います。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			体調の変化や状況の変化を感じられた際に、適切に報告・連絡を行っている。	全員が同じことをきちんと行う事ができて初めて認められるサービスになるとおもいます。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			本人、ご家族からの要望があった場合に、ケアマネと相談の上でインフォーマルなサービスの情報提供やその他提案を行っている	全員が同じことをきちんと行う事ができて初めて認められるサービスになるとおもいます。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			事業所内で定期的にカンファレンスを行っており、その結果を多職種と共有している。	全員が同じことをきちんと行う事ができて初めて認められるサービスになるとおもいます。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）		○			サービス担当者会議の機会に、必要であれば包括的な視点で意見を述べている。	押さえるべき点を早急に見直すことで作業の目的に繋がっていきます。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			退院の際、カンファレンスに参加し、状態の変化等の確認を細やかにやっている。足りない情報提供を求めたり、コロナ禍でご本人に会えない際の状況確認に工夫している。	押さえるべき点を早急に見直すことで作業の目的に繋がっていきます。

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価コメント
			できていない	ほぼできていない	ができていないこと	全くできていない		
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）			○		それぞれのケースに対応しているが、包括的なサポート体制の構築への提案までには至っていない。	どのようにすれば改善されるのかの記載があれば良いと思います。押さえるべき点を早急に見直すことで作業の目的に繋がっていきます。輪島市という地域、まず少子高齢化、介護職は人手不足。地域で医療、介護サービス、生活支援、住まい、介護予防の提供で在宅生活が継続出来る事、素晴らしいですが、なかなか難しいようです。能登という過疎化が問題…。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		議事録をホームページに公開したり事業所に掲示し、地域の方に発信している。	当たり前と考えず新たな角度から光を当てる事で疑問が見えてきてそれを解決するために考えていくことができます。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		過去に数回、事業所を回りケアマネージャー等に説明を行ったが、積極的に広報周知は行っていなかった。	どのようにすれば改善されるのかの記載があれば良いと思います。輪島市の広報にも載せてもらうなど市も協力してはどうか？当たり前と考えず新たな角度から光を当てる事で疑問が見えてきてそれを解決するために考えていくことができます。現在、事業所を回る事難しいのでは、コロナ禍。今後は積極的に情報の発信を期待しています。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		部会の参加により、地域包括ケアシステムへの理解を深めているが、職員一人ひとりでの周知にまでは至っていない。	どのようにすれば改善されるのかの記載があれば良いと思います。当たり前と考えず新たな角度から光を当てる事で疑問が見えてきてそれを解決するために考えていくことができます。今後は地域包括ケアシステムの理解を深めて行って欲しいです。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている			○		要望があれば、可能な限り受けるようにしている。	当たり前と考えず新たな角度から光を当てる事で疑問が見えてきてそれを解決するために考えていくことができます。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○		部会の参加や、研修会の参加により情報の習得やネットワークづくりに努めているが、具体的な課題提起を行うまでには至っていない。	高齢者になっても、要介護になっても住み慣れた地域で暮らすためには小規模多機能やコールナウ（定期巡回）等の役割が重要であり、助けになります。今後とものご活躍を期待します。どのようにすれば改善されるのかの記載があれば良いと思います。当たり前と考えず新たな角度から光を当てる事で疑問が見えてきてそれを解決するために考えていくことができます。課題提起を行うまでには至っていないとの事、街づくりに関しては、輪島市役所が行えばよいのでは。タイトルが難しすぎる。
III 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている			○		サービス導入により、利用者ごとの目標達成について確実に成果が出ている。	利用者の方々の感想を聞くことまでは出来ないでコメントを控えます。相手を思いやる心遣いが職場の雰囲気と和やかにしているように思います。
在宅生活の継続に対する	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている			○		日頃から利用者本人やご家族による、感謝の意や、気軽に相談できる関係性が構築できている。	利用者の方々の感想を聞くことまでは出来ないでコメントを控えます。相手を思いやる心遣いが職場の雰囲気と和やかにしているように思います。利用者にとっても、スタッフにとっても良い関係性になっていて、とても素晴らしいです。